

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス HOORAY		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が通所を楽しみにして通ってくれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー活動を中心にしつつも、子どもたちがやりたいことをできる限り優先するようにしている。 ・選択の積み重ねが将来の意思決定支援につながると考えている。 ・結果のみにとらわれず、多様な評価軸を持って接するよう心がけている。 ・「遊びを通して」療育を提供するよう意識をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー活動や、好きなことを選択していく中で子どもの「好きなこと」が見つかるよう、多様な活動を提供したり、子どもたちのリクエストに応えられる環境(設備、人員配置等)を整えていく。
2	広いスペースを活用して身体を動かしたり、プログラムにとらわれず好きな活動をする中で、発散や息抜き場となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でもなく、家でもない、息抜きのできる「第三の場」であるよう心がけている。 ・怪我のないよう、安心安全を最優先に活動を組み立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を確保しつつ、存分に体を動かせる環境(設備、人員配置等)を整えていく。 ・ヒヤリハットの共有を通して事故の可能性を低減させる。
3	困りごとや相談に対してできる限り迅速に対応できるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングだけではなく、送迎時に様子をお伝えしたり、メールや電話などいつでも相談に対応できるよう心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段からの保護者様への情報伝達や共有を通して、より一層児童について知ることができる。それをより良い支援の提供に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が行っている活動や取り組みを保護者様や外部に十分に発信できていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の不足(機会、意識)。 ・「まずは知ってもらおうことがスタート」という意識が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳でのやりとりや定期的なお便り、SNSでの発信を充実させる。 ・フォーマル、インフォーマル問わず地域とのつながりを作っていく。 ・月一開放日の活用。
2	家族イベントの不足(保護者会は年二回開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の不足(駐車場の確保)。 ・開所日以外の職員の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にイベントの機会を設定する。 ・ご両親のみならず、ご兄弟が参加しやすいイベントの企画。 ・駐車場の確保。
3	専門的な支援の提供が不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の不足。 ・学校や地域の他機関、部会等との連携が不足しており、情報交換や研修などのイベントに参加する機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の受講や資格取得を積極的に行える環境づくり。 ・有資格者の確保。 ・学校や地域の他機関、部会等との連携を積極的に行っていく。